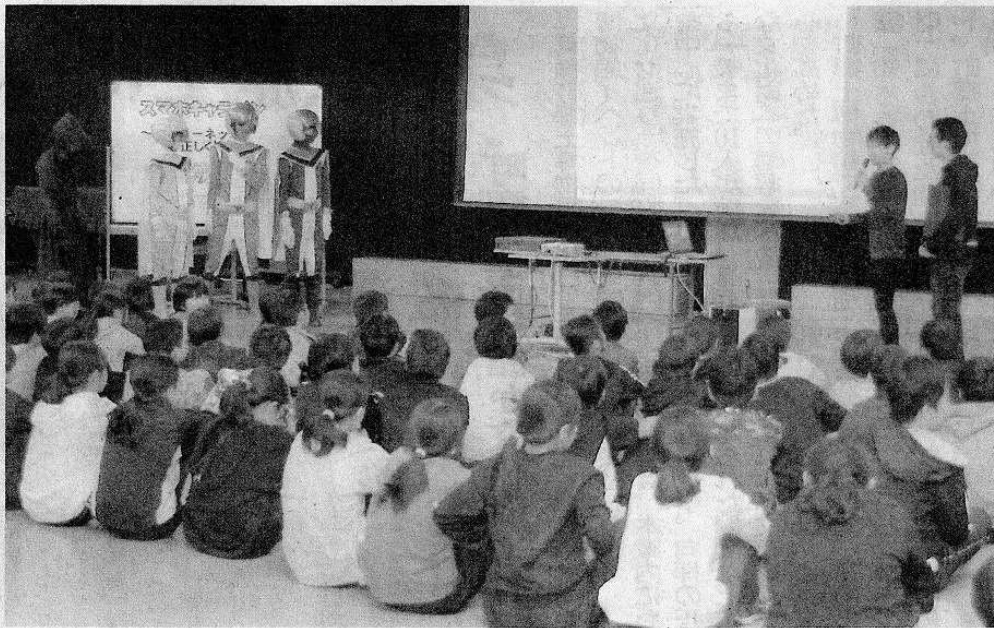


スマホの危険性を紹介

高遠小でコマレンジャーがキャラバン



コマレンジャーからスマホの危険性を聞く高遠小の児童たち

駒ヶ根工業高校（駒ヶ根市）のコマレンジャー同好会の生徒が扮する「当地ヒーロー」

「コマレンジャー」が11日、伊那市高遠小学校で5・6年生を対象にしたスマホキャラ

バンを行った。スマートフォンを使う機会が多くなる高学年の児童に向けて、高校生の

目線から危険性や注意点を教えた。

コマレンジャーは県警サイバー犯罪対策室からインターネット犯罪の被害防止に取り組みサイバーボランティアに任命されている。「スマホキャラバン」の活動は今年で4年目で、高遠小学校では初の開催。

生徒らは、架空請求やオンラインゲームの課金問題のほか、会員制交流サイト（SNS）での炎上（インターネット上で非難などが殺到し、收拾がつかなくなること）の事例を紹介。インターネット上の情報から個人が特定され、被害を受ける危険性を説明した。

説明を聞いた6年生の高橋夏音さん（10）は「顔写真の瞳の映り込みから家が特定された話が怖かった」と話した。コマレンジャー同好会の田中昂会長（17）は「情報技術科3年」は「実際に起きた事例に対し、気を付けなきゃという反応が得られてよかった」と振り返っていた。